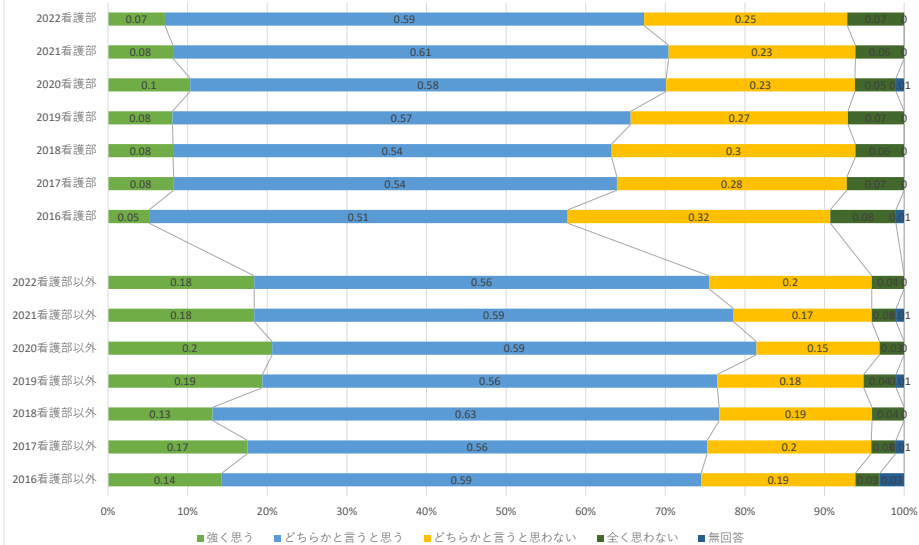
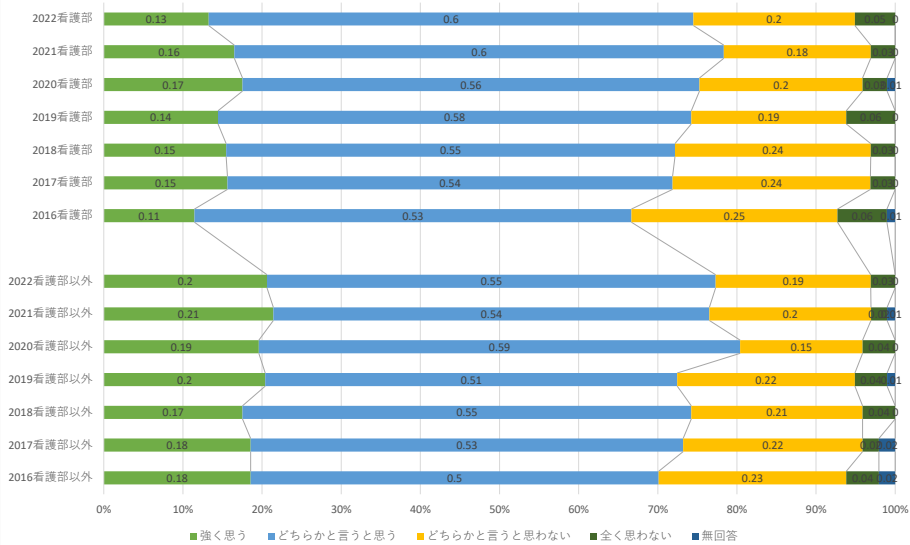


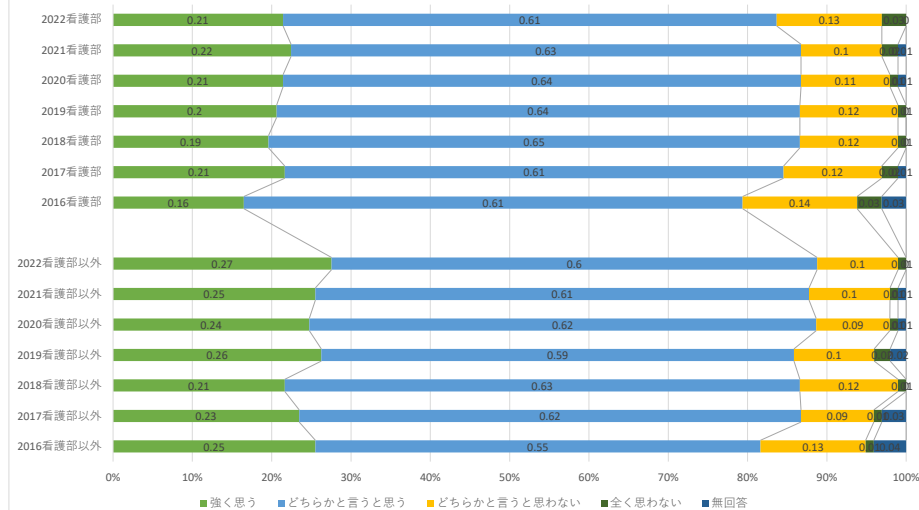
あなたの病院ではライフイベント（結婚、子育て、介護、病気など）に合わせた支援があると思いますか？



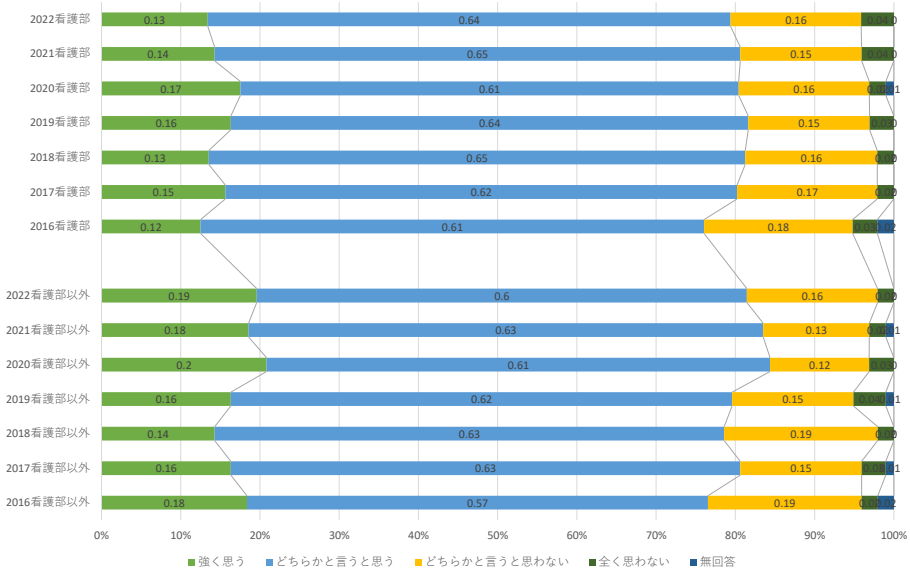
あなたはライフイベントに合わせた支援は職場のスタッフ全員による支援であると意識したことがありますか？



ワークライフバランスを考えることは、ライフイベントに際して支援を活用している職員は当然として、ライフイベントを支援している職員にとって、より重要であると思いますか？



あなたの職場では互いのライフイベントに支援・協力しあう雰囲気がありますか？



2016年度から、これまでの職員満足度調査にライフイベントに関わる上記4項目の質問を追加しております。今年度の調査では、「強く思う」「どちらかと言うと思う」を合わせた割合はすべての項目において、昨年度と比較すると減少しています。これは、今まで様々な支援を行ってまいりましたが、長引くコロナウィルス感染症の流行により全国的に医療従事者の疲労が顕著となっている状況下で当院職員も同様であり、少なからず影響していることが想定されます。しかし、すべての質問で「強く思う」「どちらかと言うと思う」の割合は65%を超えています。今年度より、男性の育児取得者数も増え、育児短時間勤務や子の看護休暇、介護休暇取得も多く活用されています。コロナウィルス流行の中でも職員同士助け合い、日々の業務に対応している様子が「ライフイベントに支援・協力しあう雰囲気があるか」のアンケートの結果にも表れています。次年度も現在の雰囲気は守りつつ、アフターコロナへ向けて、より充実したワークライフバランスを実現できるよう取り組んでいきます。